

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 16 日 (2012.8.16)

【公開番号】特開 2011-29921 (P2011-29921A)

【公開日】平成 23 年 2 月 10 日 (2011.2.10)

【年通号数】公開・登録公報 2011-006

【出願番号】特願 2009-173591 (P2009-173591)

【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 4 日 (2012.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 2】

すなわち、図 5 において、信号処理装置は、時間領域周波数オフセット補正部 2 1、FFT 演算部 2 2、周波数領域周波数オフセット補正部 2 3、回転部 2 4、プリアンプル処理部 2 5、及び、シンボル同期部 2 6 を含む。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 3】

回転部 2 4 は、周波数領域周波数オフセット補正部 2 3 からの OFDM 周波数領域信号を、図示せぬブロックで推定される GI 長、又は、プリセットに含まれる GI 長と、プリアンプル処理部 2 5 からの「粗い」周波数オフセットの推定値とに従って補正し、周波数領域周波数オフセット補正部 2 3 からのキャリアインデクスとともに、等化や、誤り訂正符号の復号等を行う図示せぬ後段のブロックに供給する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

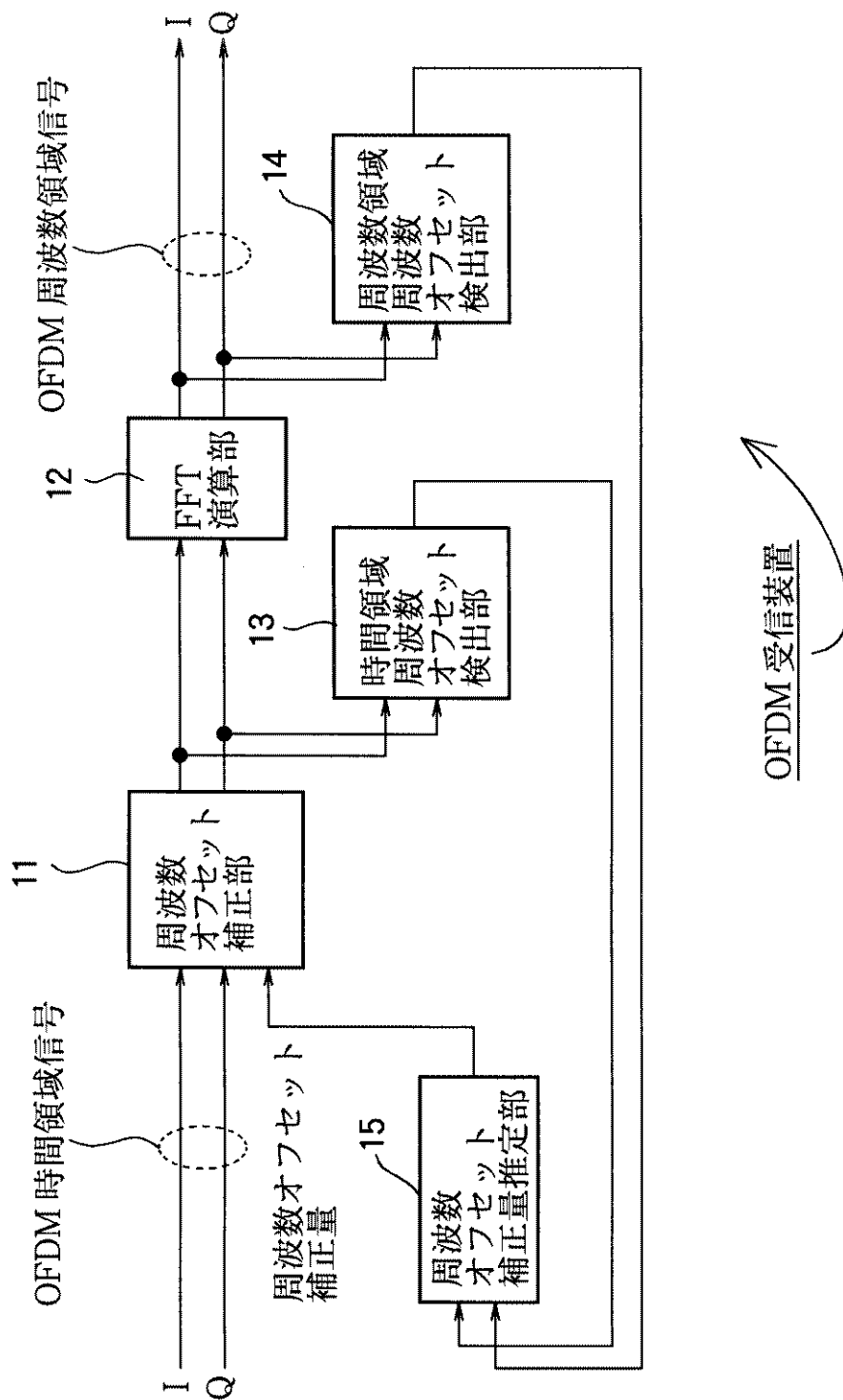
【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

図2



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

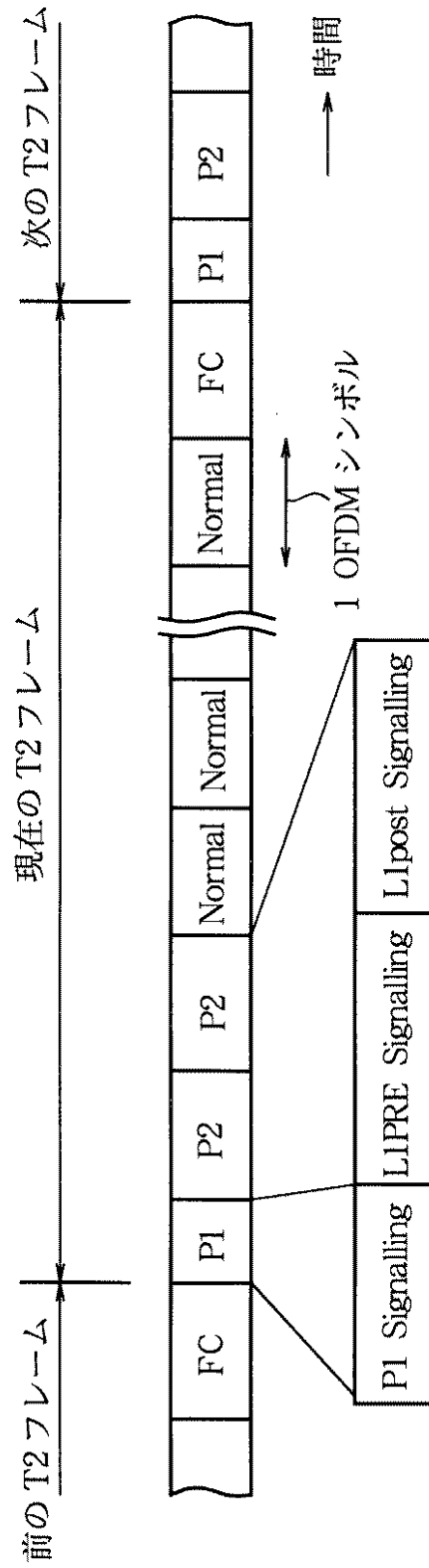
【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

図 3



DVB-T2 のフレーム構造

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

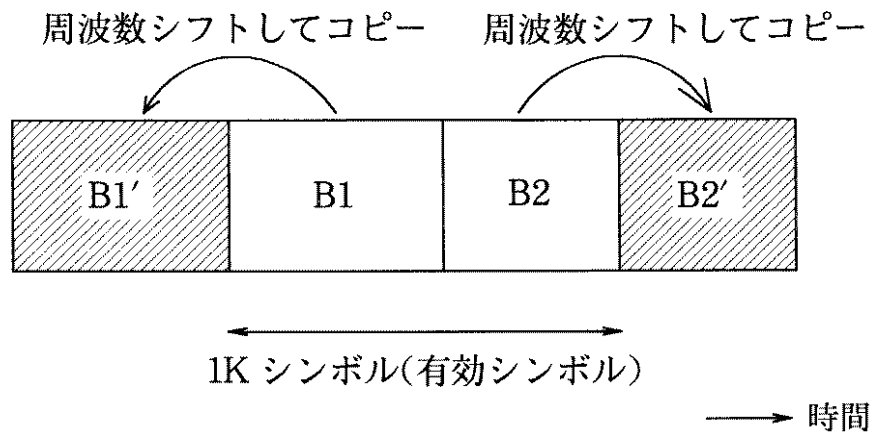
【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 4 】

図 4



P1 シンボルの構成

【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

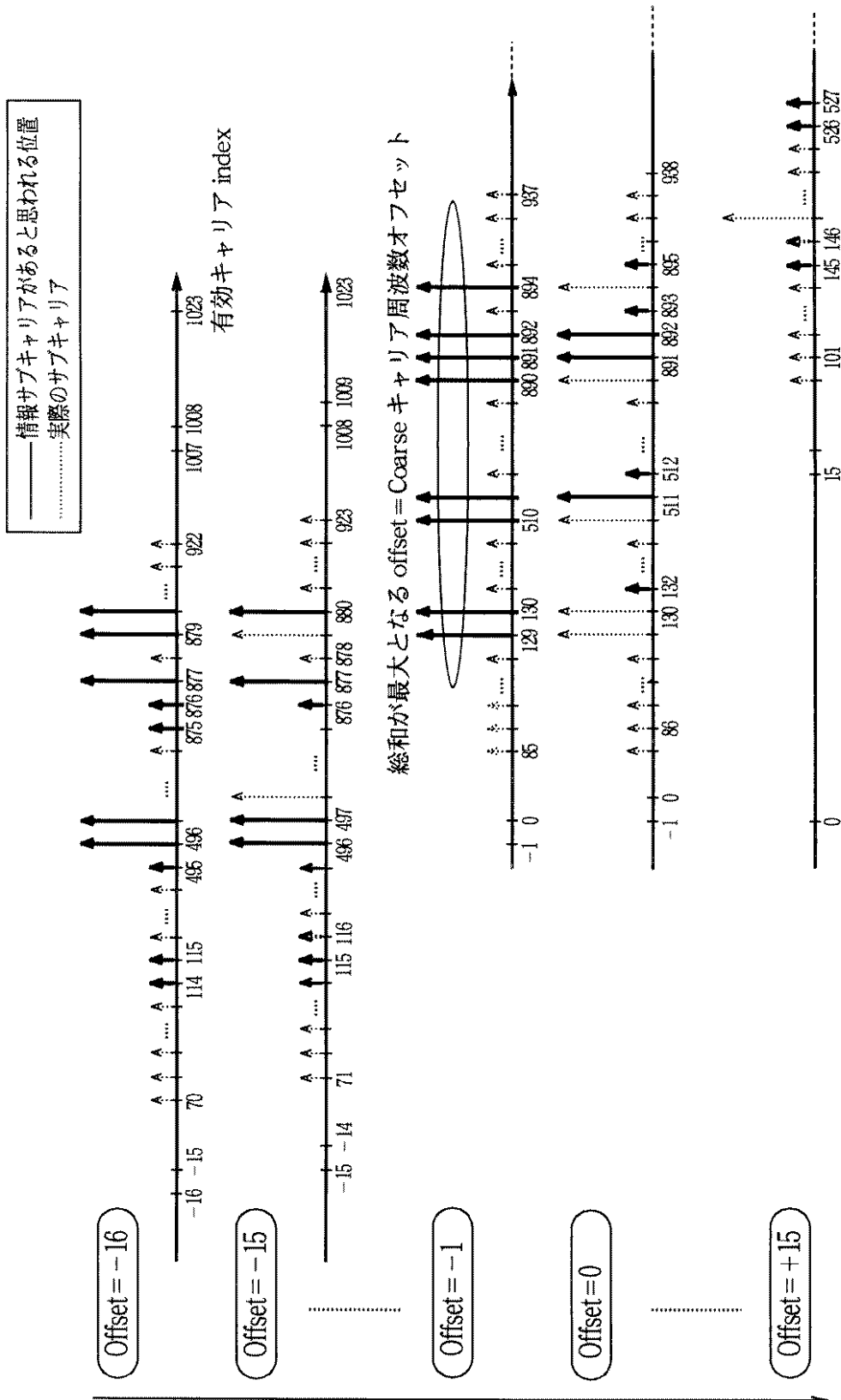
【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7】

図7



P1 を使った Coarse キャリア周波数オフセット検出



【手続補正 7】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 0

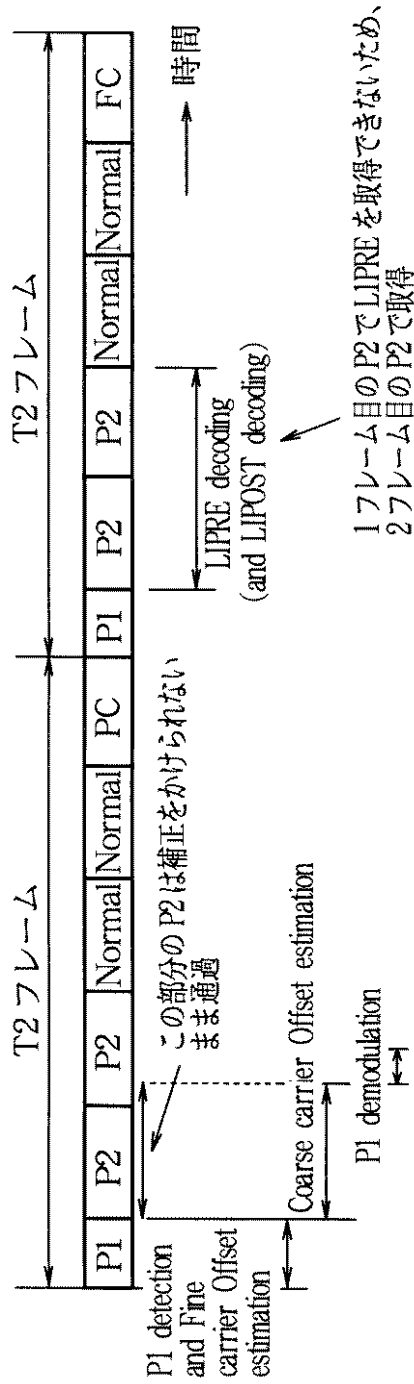
【補正方法】変更

【補正の内容】

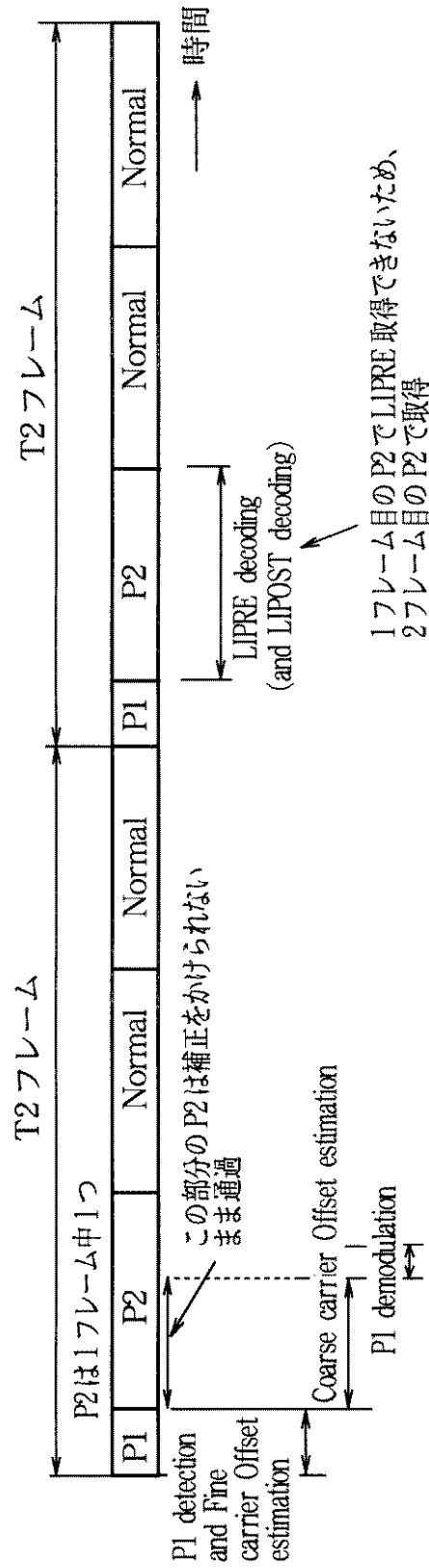
【図 10】

図 10

## A FFTSIZE = 16k, 32K 以外の場合



## B FFTSIZE = 16k, 32K の場合



キャリアアオフセット存在時の復調シーケンス

【手続補正 8】

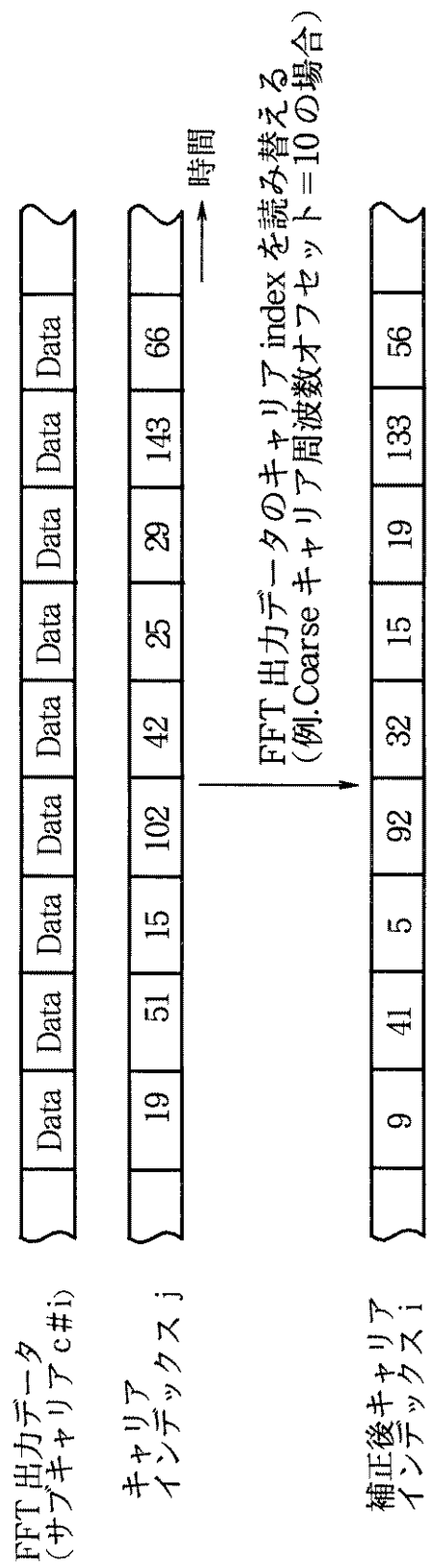
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

図 12



# 周波数オフセット補正の一例

【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 14】

図 14

